

製造業技術力調査・キラリ登別（工業品）

ドーピー建設工業株式会社 幌別工場

昭和 31 年 9 月 13 日「北海道ピー・エス・コンクリート株式会社」（東京本社・札幌営業所/現北海道支社）を設立、同年、北海道の誘致工場として幌別工場がスタート、その後、昭和 58 年に現在の社名「ドーピー建設工業株式会社」。



主力製品はプレストレストコンクリート。従来の鉄筋コンクリートの圧縮力に強く引張力に弱い特性に比べ、PC 鋼材（ピアノ線も含む）を使い、荷重が作用する前にコンクリート部材に圧縮力がかかった状態（プレストレス）で、引張応力の発生を制御しひび割れを防ぐことができ、鉄筋コンクリートよりも断面が小さく軽量化と長いスパンが可能となり、当工場でも製品 1 本の質量で 30 トン、長さで 25 メートルの構造物を製造した実績があります。この構造は、大規模構造物に適していることから、国内の新設コンクリート橋のほとんどがこのタイプで建造されています。

国内のインフラ産業の経年変化や交通需要の多様化による維持管理や更新の必要性が高まり、さらに大震災に耐えうるライフラインの役目が求められる中、橋梁技術を基本として PC 技術が適用可能な構造物を開発・設計・施工をして常にお客様の立場で最適な解決策を提供しています。

CSR の一環として、登別市内小学校の社会科見学学習も受け入れ、工場見学や PC の弾力性体験ほかで、コンクリートを通して社会での機能や役割も伝えています。

【 代 表 者 名 】 代表取締役社長 荒木 映世 工場長 日下 秀人

【 所 在 地 】 北海道登別市千歳町 1 丁目 2 4 番地 1

【 T E L 】 0143-85-2221

【 F A X 】 0143-85-5171

【 H P 】 <http://www.dps.co.jp>

【 資 本 金 】 300,000 千円

【 主 な 製 品 】 プレストレストコンクリート製品（道路橋用橋げた、ポール、道路橋橋げた用セグメント、合成床版用プレキャスト板、矢板、道路橋用プレキャスト床版、PC フリューム、PC マクラギほか）建築製品（人工地盤、耐震補強フレーム、段床版、PC 床版ほか）スラリータンク製品

事業所名	ドーピー建設工業株式会社 幌別工場			業種	製造業	
代表者名	代表取締役社長 荒木 映世 工場長 日下 秀人			TEL	0143-85-2221	
所在地	登別市千歳町1丁目24-1			FAX	0143-85-5171	
本社(本店)名	ドーピー建設工業株式会社		HP/URL	http://www.dps.co.jp		
創業(法人設立)	昭和31年9月13日			資本金	300,000千円	
従業員総数(役員等含む)				産業分類	2123 コンクリート製品製造業	
内訳				売上高(最近3ヶ年)		
	区分	男性	女性	計	(単位:千円)	
	役員	7()	()	7()	決算期	売上高
従業員数	事務系	35()	5(1)	40(1)	平成24年3月31日	8,328,577
	技術系	139()	2()	141()	平成23年3月31日	10,799,989
	労働系	8()	2(2)	10(2)	平成22年3月31日	12,085,174
	合計	189()	9(3)	198(3)	支店・営業所等の有無	(有)・無
	備考	※()内は、臨時・パートの内数			(道内・道外)・国外	
主な製品				主な製品の納入先及び販売先		
●プレストレストコンクリート製品				●建築製品		
・道路橋用橋げた				・人工地盤		
・ポール				・耐震補強フレーム		
・道路橋橋げた用セグメント				・段床版		
・合成床版用プレキャスト板				・PC床版、他		
・矢板						
・道路橋用プレキャスト床版				●スラリータンク製品		
・PCフリーフォーム				北海道開発局、北海道、市町村、各地域の土木建設会社		
・PCマクラギ、他				北通産(株)、北海道電力、JR北海道、他		
主な製品材料と仕入先				事業関連免許の保有状況(規格・認証関係含む)		
材料		仕入先				
セメント		太平洋セメント(株)、日鐵住金セメント(株)		JIS A 5373プレキャストプレストレストコンクリート製品		
骨材		(株)三共、太平洋セメント、綿多峰砂採取(株)		(道路橋橋げた用、プレストレストコンクリートポール、		
PC鋼材		住友電工スチールワイヤー		道路橋橋げた用セグメント他)		
鉄筋		NS北海製線(株)				
鉄線		新北海鋼業(株)、清水鋼鐵(株)、他		ISO9001, ISO14001		
		NC北海製線(株)				
		(株)佐藤製線所室蘭工場				
産業生産権(特許・実用新案・意匠権他)の保有数状況(申請含む)				技術技能免許の保有数状況(修士・博士・技能士他)		
				※()は幌別工場の保有数状況		
特許3597506号:開渠ブロックの連結構造(道路に関する特許)				一級土木施工管理技士	148(5)	
特許3878098号:補強コンクリート部材(PCaPC床版の補強に関する特許)				コンクリート主任技士	8(1)	
特許4413063号:プレキャストPCタンクの側壁構造(PCaPCタンクに関する特許)				コンクリート技士	55(4)	
				工業標準化品質管理推進責任者	6(4)	
				第一種衛生管理者	5(1)	
				博士号	(3)	
				大学院卒業者	(11)	
保有設備						
区分	機械類の名称		台数	メーカー・形式		
主な製造設備	バッチャープラント		1	日工(株) 二軸強制練ミキサ(1.67m ³)		
	同時緊張機		7	オックスジャッキ(株)600t-1、350t-2、150t-4		
	クレーン		14	15t-2、6t-4、4t-2、3t-2、2.8t-5、2t-1		
	自動編成機		1	ポール用		
	製柱機		3	15m・1500rpm		
	マクラギ製造ライン		1	100丁/日		
	貫流ボイラー		5	0.75t-1、0.5t-4		

企業・会社の説明(戦略・PR)について

企業・会社の沿革

昭和31年に当社は、「北海道ピー・エス・コンクリート(株)」という名称で創立し、幌別工業も同年に北海道の誘致工業として建設されました。プレストレストコンクリート製品(橋げた、ポール、パイル等)を製造する工場としてスタートしました。昭和58年に現在の社名「ドーピー建設工業株式会社」に変更されました。

経営のご紹介

国内のインフラストラクチャー経年変化や交通需要の多様化により、維持管理や更新の必要性が高まり、さらに大震災に耐えうるライフラインの役目が求められています。当社は、橋梁技術を基本として、PC技術が適用可能な構造物を開発・設計・施工をして常にお客様の立場に立って最適なソリューションを提供します。

製造のご紹介

プレテンション製品制作ヤード長さ66m:3列、56m:3列、28m:1列
同時緊張装置能力600t:1基、350t:2基、150t:4基 製品養生:蒸気養生
ポール生産能力:105本/日、打設方法:盛り込み方式

技術のご紹介

緊張方式:同時緊張、橋げた製品・建築製品等の鉄筋籠化
ポール製品締固め方法:遠心力締固め

製品のご紹介

プレストレストコンクリート製品は、鉄筋コンクリート製品と比べると断面を小さくすることができるため、スパンを長くできる利点があります。当工場では、製品1本の質量で30トン、長さで25mのものを製造した実績があります。

販売のご紹介

製品の納入先は、おもに道内ですが、過去には青森県、秋田県、岩手県、愛知県に納入した実績があります。

人事のご紹介

会社の発展を左右するのは人であり、人によって会社の未来が決定されるといっても過言ではありません。当社では、28種類に及ぶ。資格取得に対する奨励制度を設けております。社員が仕事に対して目的意識をもち、一人ひとりが主役として限らない可能性に挑戦してもらえる環境づくりを考えています。

福利厚生のご紹介

社会保険(健康保険、介護保険、厚生年金、雇用保険、労災保険)
退職金(規約型確定給付企業年金併用)、財形貯金(社会奨励金あり)
独身寮、社宅、住宅補助

社会
貢献
活動
(CSR)

アイラブロードへの参加、地域ボランティア活動として昨年から工場周辺の草刈・ゴミ拾いを実施している。小学校の社会科見学は、毎年数校ほど受け入れしている。

リ
ク
ル
ー
ト

平成25年度 8月 学外実習受入予定 苫小牧工業高等専門学校 1名

加入団体・組合等

登別商工会議所、登別交通安全協会、室蘭交通安全協会・室蘭労働基準協会、(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会、(社)プレストレストコンクリート工学会、アウトプレート工法研究会、日本ボイラー協会、(社)土木学会、(社)日本道路協会、(社)コンクリートパイル建設技術協会、(社)日本コンクリート工学協会、(社)日本鉄道施設協会、(財)海洋架橋・橋梁調査会、(財)沿岸開発技術研究センター